

# あがの 市議会だより



平成22年1月15日

第4号

(12月定例会号)

発行／阿賀野市議会

編集／議会だより編集特別委員会

議会事務局／岡山町 10 番 15 号

TEL / 0250 - 62 - 2510 (代表)

FAX / 0250 - 61 - 2067

E-mail / gikai@city.agano.niigata.jp



## 厳しいからこそ将来を見据えて

市民の皆さまにはおだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より市議会の活動に対し、ご意見とご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新しい年が明けはや1カ月になろうとしておりますが、身の引き締まる厳しい新年の船出であります。

国内の社会・経済情勢は、混迷の度を深めており、長引く景気の低迷による消費の落ち込みや雇用情勢等の改善はみられません。

また、政権交代は、国や地方の行財政運営に大きな変革をもたらすことになりましたが、国税の大幅な減収や事業仕分けなどが国の予算をはじめ地方にも、どのような影響を与えるのかは不透明であります。

阿賀野市に目を向ければ、財政状況は厳しさを増し、行政サービスにおいても市民の皆さまのご要望すべてには応えられない状況が続いております。

また、水原郷病院への赤字補填は市の財政運営を圧迫しており、公設民営化に向け重大な局面を迎えております。

議会としても、救急医療をはじめとした診療機能の回復と、財政負担の軽減を図るため取り組んでいるところですが、結果によっては平成22年度以降の予算や市民生活など市政全体に影響が及ぶことから、市民の皆さまへの情報提供を求めるなどしっかりと議論をしなければならぬと考えております。

平成16年4月に誕生した阿賀野市は6年の歴史を刻みましたが、



阿賀野市議会議長  
浅間 信一

今日まで市民一人ひとりが主役であり、住みやすさ、暮らしやすさを実感し、「人・まち・自然が輝く幸福都市阿賀野」を将来像として描き市政運営に取り組みんでいます。

しかしながら、合併後は聖域なき構造改革の旗印のもと、三位一体改革が地方財政を直撃し、また、中央と地方の格差や社会的格差といわれるような構造的な問題などが複雑に重なり、景気の低迷を招き、とりわけ地方の社会・経済が疲弊しており阿賀野市も例外ではありません。

このように社会・経済情勢が混沌としているときこそ強いリーダーシップが求められ、中長期的な視点から、何をすべきかを見極める洞察力が必要であります。

先にも述べましたが、わが国のカジとりが民主党中心の政権に交代し地方重視、生活優先の政策が打ち出されたことから、地方分権における議会のあり方がますます重要となりました。当市議会としてはこれまで以上に、市政に対する監視機能と民意を把握し、着実に施策に反映させていかなければなりません。

まちづくりの主役は市民の皆さまであることを第一に、任んで良かったと実感できる地域の実現を目指し最善の努力を尽くしてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆さまにとって幸多く、実り豊かな一年となりますことを心よりお祈りいたします。